

土木学会第1回年次学術講演會講演

(施工法及隧道之部 No. 8)

八幡濱線夜晝隧道に就て

會員 岡 本 港*

四國八幡濱線夜晝隧道は昭和8年1月着手したものであるが、断層による地質構造の特異性のため疊築完了後一部破潰されて改築を餘儀なくされ、断層の形状を変更すると共に巻厚を増大したが、尙且つ一部龜裂の發生を見るに至り、昭和11年3月遂に一定の條件を以て請負に附し難き理由を以て契約を解除し、直營を以て施工することになり、短區間を部分請負に附し地質に応じて適宜の處置を講じて進行してゐる。

本文は断層の状態、地質より疊築の龜裂破潰の状態、断面形状並に施工法の変更に至る経緯に及び、強大な土圧下に於ける隧道施工法につき述べんとするものである。

(註： 本文の詳細に就ては土木学会誌に登載の豫定である)

圖-1. 八幡濱線平面圖

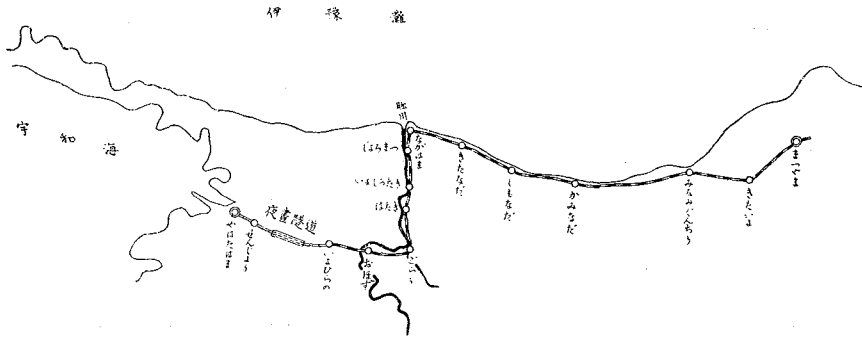
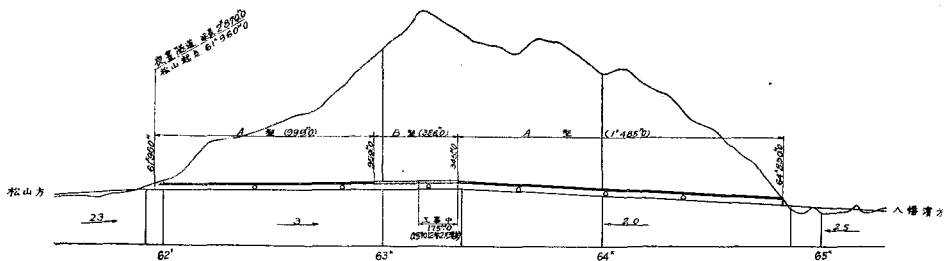


圖-2. 夜晝隧道縦断面圖



* 鉄道技師 工学士 鉄道省盛岡建設事務所勤務 (昭和12年4月11日講演)

図-3. 夜晝隧道横断面図

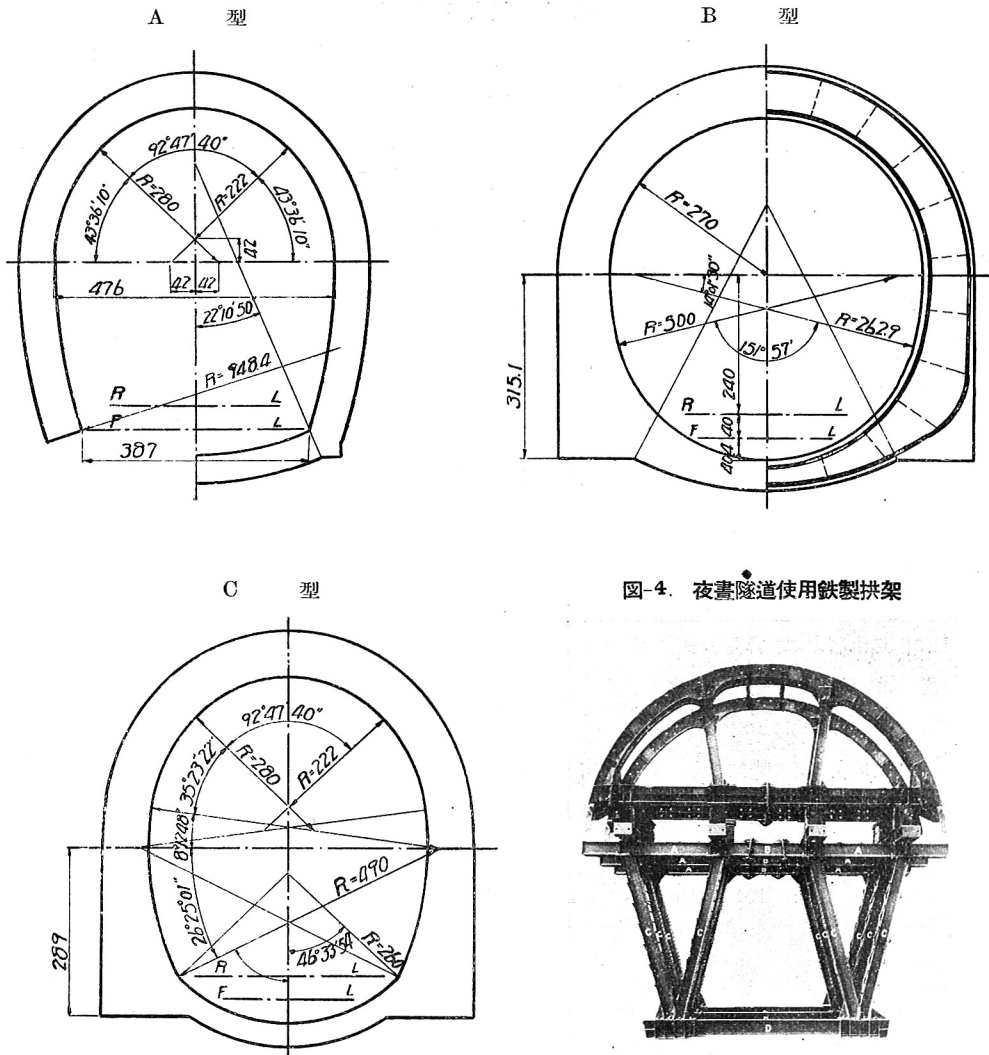


図-4. 夜晝隧道使用鉄製拱架